

2020.1.13 NO. 214

発行：墨田区議会事務局
130-8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号☎5608-6352
<https://www.city.sumida.lg.jp/kugikai/>

すみだ

区議会だより

【主な内容】

1面 令和2年 年頭のご挨拶

2面 11月議会のもよう／
代表質問（自民党・公明党）

3面 代表質問（共産党）／
11月緊急議会のもよう／議員連盟の活動

4面 一般質問（6人）

5面 常任委員会の活動

6面 常任委員会の活動
特別委員会の活動／意見書

7面 決算特別委員会のもよう

8面 各会派の抱負／
議決議案等の審議結果

区議会だより HP

区民の皆様には、令和となつて初めての新春を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、新成人となられた皆様にお心からお祝いを申し上げます。

今年は、墨田区にとつて記念すべき年となります。4月に、本区初となる大学、情報経営イノベーション専門職大学が開学します。7月から始まる東京2020オリンピック競技大会では、両国国技館がボクシング競技の会場となります。我がまち・すみだが、より魅力的で素敵なまちとなり、更なる飛躍をすることを願っています。

さて、こうした勢いある動きに負けることなく、区議会では、考え方や立場の違いを超えてチーム議会として、議会改革に取り組んでいます。その例として、議会の開会期間をほぼ1年間とする通年議会の導入、区役所以外での委員会の開会、政務活動費の領収書のホームページ公開などがあり、研究機関からも高い評価を受けています。

しかし、区議会には取り組むべき課題が山積しています。昨年施行した墨田区議会基本条例を、より実効性あるものにするなど、区議会は不断の努力を怠りません。

また、オールすみだで地震や風水害に対して的確な災害対応ができるよう安全で安心なまちづくりを最優先課題とし、全力で取り組みます。

本年が皆様方にとりまして、実り多き年となるように、心から御祈念申し上げます。

令和2年

迎春

年頭に当たつて

墨田区議会議長
田中 邦友

墨田区議会は本紙上をもって
新年のごあいさつとさせていただきます。
あわせて新成人の皆様にお祝い申し上げます。

墨田区議会議員（議席番号順）							
中村 あきひろ （立憲墨）	かんだ すなお （N国党）	たかはし のりこ （公明党）	坂井 ユカコ （自民党）	坂井 ひであき （自民党）	たきざわ 正宜 （自民党）	山下 ひろみ （共産党）	藤崎 こうき （自民党）
はねだ 福代 （公明党）	加藤 拓 （自民党）	しもむら 緑 （自民党）	佐藤 篤 （自民党）	あさの 清美 （共産党）	井上 ノエミ （新すみ）	堀 よしあき （無所属）	渋田 ちしゅう （立憲墨）
樋口 敏郎 （自民党）	福田 はるみ （自民党）	としま 剛 （共産党）	あべ きみこ （墨立憲）	大瀬 康介 （墨田才）	じんの 博義 （公明党）	高橋 正利 （公明党）	とも 宣子 （公明党）
高柳 東彦 （共産党）	はら つとむ （共産党）	田中 哲 （きすな）	副議長 加納 進 （公明党）	おおこし 勝広 （公明党）	木内 清 （自民党）	議長 田中 邦友 （自民党）	沖山 仁 （自民党）

11月議会

「骨髄移植等によりワクチンの再接種が必要になった場合の再接種費用を助成する制度創設に関する意見書」を全会一致で可決

令和元年度定例会11月議会を11月27日から12月11日まで開きました。11月27日、28日の本会議では、各会派の代表質問及び5人の議員が一般質問を行いました。

29日の本会議では、1人の議員が一般質問を行った後、平成30年度各会計歳入歳出決算4件について認定したほか、区長提出議案4件について、一部付帯決議を付して原案どおり可決しました。また、墨田区選挙管理委員及び同補充員の任期満了に伴う選挙を行い、それぞれ4人が当選しました。

12月11日の本会議最終日では、「大瀬康介議員に対する懲罰動議」に伴う懲罰特別委員会を設置し、審査を付託しました。次に、区長提出議案22件について、一部付帯決議を付して原案どおり可決したほか、陳情1件を採択しました。また、議員提出議案の意見書3件を原案どおり可決しました。

代表質問

区政を問う！

災害対策の見直しと強化について伺う



自由民主党
坂井 ユカコ



映像配信HP

問 ①会派で開催した議会報告会で、参加された皆様から寄せられた質問は、この度の台風19号に端を発した災害対策に集中し、その内容のすべてが区の対応を疑問視する声であった。情報発信体制の不備や職員数の絶対的不足等、挙げるときりがないが、中でも、本来行政が行うべき、区民の不安を取り除き、安心していただくという行為を怠ったことは、極めて重大であり、猛省すべき。台風19号における対応に対する率直な気持ちと、最大の課題は何であったと捉えているのか、区長の所見を伺う。また、浮かび上がった課題をどう整理し、どのくらいを目途にクリアしていくのか。②台風19号直後に実施された地域防災活動拠点訓

練では、参加者から初動に特化したマニュアルを作るべき等の意見が多くあった。地域防災活動拠点は、学校ごとに間取りや広さ等が違うため、各学校専用の避難所開設マニュアルを用意することにより、誰でも避難所開設準備に参加できるようになる。他自治体にある初動に特化した避難所開設マニュアルに、地域防災活動拠点の特徴を付加したものを整備することで、本区の防災力は向上すると考えるがどうか。

答

①今回の対応については、情報発信体制や避難所の開設、職員の参集体制等、多くの課題が明らかとなり、区民に不安な思いをさせたことを反省している。議会からの意見も踏まえ、速やかに改善するよう、職員に

指示した。今回の教訓を十分に生かし、万全な体制で今後の災害対応に臨む。今回の課題は、短期的、中期的な対応策を整理・検討した上で、年内を目途に議会へ報告し、台風到来期までには、区民の安全・安心を十分に確保できるよう、可能な限り準備を進めていく。

②避難所の適時・適切な開設については、重要な課題と認識しており、他の自治体における避難所開設に資するツールの作成・活用事例を十分に参考としながら、マニュアル整備について、地域防災活動拠点会議の場も活用し、検討していく。また、当該マニュアルの整備や実際の避難所開設・運営については、避難所となる小・中学校の施設管理者や教職員の参画・協力が重要であると認識している。今後、教育委員会とも十分に連携し、体制等の整備を図る。

財政白書と基本計画中間改定について

問

財政白書では、区財政がこのまま推移し続ければ、2025年までに合計120億円の歳出超過となり、基金残高は5億円しか残らないとしているが、本区の5年後について、区長はどのように考えているのか。本区の財政基盤は立て直しが進んでいるように見えるが、民生費の伸びが非常に大きく、抜本的な行政改革が必須である。区長は、どのような財政運営及び行財政改革を行うのか。併せて、本区の人口増加への対応について伺う。来年度は、墨田区基本計画の中間改定であるが、財政白書で指摘された、緊急を要する本区の財政課題に対して、こういった施策を反映し、何が大切で、これからどうしていくのか伺う。

答

財政白書の財政推計では、今後見込んでいく。これまで以上に行政として担うべき事業の選択と集中を図り、抜本的な行財政改革に取り組み、効率的・効果的な区政運営を行い、強固な

大規模災害における地域防災力向上と避難所確保の実効性について伺う



公明党
はねだ 福代



映像配信HP

問

東日本各地に甚大な被害をもたらした台風19号に対して、区の対応不足、訓練不足が露呈し、多くの区民が区に対して不信感を募らす結果となった。そこで、新たな視点から区の災害対応力強化を図るため、以下の点について伺う。①各地域の住民が主体となつて、地域の災害リスクを把握し、その対処法を検討した上で策定する「地区防災計画」の重要性が高まっている。まずはモデル地区を選定し、防災アドバイザーの派遣も視野に入れ、取組を後押しすべき。②発災当初の混乱の中、参集した誰もが円滑に実働できることを目的とする避難所開設キツトを導入し、訓練を実施すべき。③区民に対して災害に関する確かな情報を

素早く伝達するため、防災アプリの機能充実を図るとともに、SNSの効果的な活用推進を求める。④暴風雨等から避難する先として、垂直避難先の確保が急務である。都施設や都営住宅の3階以上にある集会所を避難所として活用できるよう、都に協力を要請すべき。⑤支援が必要な人たちが安全に避難できる場所を確保するため、現在指定されている福祉避難所との協定を更に具体的に協議し、実効性を確保すべき。

答

①地区防災計画等の作成については、他自治体の事例を参考に、効果的な取組を検討する。その際は、モデル地区を選定し実施する必要もあると考える。②避難所開設キットについては、地域防災活動拠点会議の場で活用し導入を検討する。③防災アプリについては、SNSのより効果的な活用も含め、情報発信を強化するために機能の拡充等を検討する。④水害時の避難場所として、都有地を活用することについて都に要請する。また、都営住宅の集会所の開放についても都と協議していく。⑤福祉避難所の拡充に向けては、事業者との連絡会の中で実効性のある運営体制等について検討を進める。

問

区内に大学が開学することで、すみだの子どもたちにどのような変化が起こればと考え、教育とどう結び付けていくのか教育長に伺う。

答

大学生と交流機会を持つことで、学習意欲の変化が期待できる。各大学との連携による、区立学校での教育活動等を積極的に進める。

問

墨田区内には、いわゆる入所施設である障害者支援施設は一つもなく、施設を利用せざるを得ない区内の重度心身障害者は全国各地の施設

障害者支援施設整備のあり方について十分な検討を求める

に入所されている。①災害が発生した際、全国に点在している入所者に対し、どのような体制で対応しているのか。②障害者支援施設の整備について、平成19年の決算特別委員会で前区長から「今後の課題として公で設置の上、社会福祉法人に運営を任せる受け皿づくりが先決」との趣旨の答弁があったが、いまだ課題解決に至っていない。基本計画の見直しの中で、財政推計も含め、今後の障害者支援施設のあり方について十分な検討を求める。

答

①障害者や高齢者、生活保護受給者の入所施設が被災地域にあった場合は、職員が施設へ連絡し、本人の安否と被害状況等を確認している。また、施設に被害が及ぶような状況の場合は、施設や家族と連絡を取りつつ、他施設への転所も視野に対応することとしている。②障害者支援施設の整備については、基本計画の中間改定の中で、財政面や利用者の意向、受け皿となる法人の現状、国や都の動向等、様々な課題を整理し、意見を伺いながら、総合的な観点から検討していく。

問

フレイル（身体的機能や認知機能の低下が見られる状態）予防として、口腔ケアの重要性が叫ばれている。そこで、75歳と79歳を対象に実施している高齢者の歯科検診を、毎年受診できるように拡充してはどうか。

答

口腔フレイル予防については、通年ベースでの実績も含め、分析が必要であると考えている。口腔フレイル予防を実効性あるものにするため、どの段階での対応が効果的か検証し、事業拡充については検討していく。

問

少しの空き時間を活用し、副業の「すきまワーカー」と呼ばれる人材が福祉分野に入ってくる取組が、今後大切になると考えるが、区長の所見は。

答

都合の良い日時の就労を可とする介護事業者と、曜日や時間を限定した働き方を望む人をマッチングするなど、「すきまワーカー」に対応する取組を進めていく。

台風・水害時の情報提供方法や避難場所の抜本的な改善を求める



日本共産党

あさの 清美



映像配信HP

問

①台風19号に対する区の対応に、不満や批判が寄せられている。区は自主避難を勧告した理由について、「雨や風による被害が心配な方のため」と後になって説明していたが、避難した人の多くは荒川の氾濫などによる浸水を心配したのではないか。このような区の判断理由を含めた情報は、避難勧告と合わせて提供する必要がある。また、防災行政無線が聞き取れなかった問題は早急に改善すべきで、我が党は防災ラジオ等を安価で斡旋することや低所得者等に無料配布するよう求めている。スマートフォンの活用などもあるが、インターネット環境がないため情報が入らないとの声もあり、一人ひとりに区が直接、確実に情報を届ける仕組みを構築すべき。②現行の避難場所は「東京湾北部地震」の被害想定を基に計画しており、洪水被害を想定したものではない。最近の台風等による教訓から、大地震による避難場所とは別に整備し、防災備蓄品にも、小型ボートや発電機など、洪水の際に必要なものを再検討すべき。また、荒川氾濫時は広域避難だけでなく、区内で1週間から2週間は滞在可能な避難場所を検討し、さらに、災害弱者をはじめとした区民の避難方法について、明確な提案を行い、その周知と避難訓練などを実施すべき。

答

①台風19号の対応で得た教訓の中でも、情報発信体制の再構築は重要な課題であると認識しており、現在、早急に改善策の検討を進めている。防災行政無線が聞き取りにくかった等の課題に対しては、区民の声を聴

きながら検証した上で、まずは既存の情報発信ツールを活用し、適時・適切に情報発信できる体制づくりを進める。

②現在、区が指定する学校等の避難所は、食料や防災資器材等を備蓄しており、水害時の避難場所の役割が果たせると認識している。加えて、垂直避難の対応として、一時避難施設の拡充や区内都有施設の活用要請等の取組を進める。防災備蓄品については、今回の使用実績を踏まえ、配備状況等を改めて検証する。荒川氾濫時の広域避難については、ライフライン復旧まで長期間にわたることが想定され、緊急避難措置として、垂直避難対策を進める一方、広域避難の方策も検討していく。また、区民に対する避難方法の提案や周知については課題であると認識しており、要配慮者避難支援プランの改定など、支援体制強化を図る。

国民健康保険料の引下げについて

問

本区の滞納世帯の約8割、差押え世帯の約4割が保険料20万円未満の低所得者で、さらに、国民健康保険料には他の健康保険にはない均等割の仕組みがあるため、多子世帯にとっては耐え難い負担となっている。ところが、来年度の保険料も区長会が公費繰入を縮小しようとしており、このままでは大幅値上げとなってしまう。23区統一保険料を決める協議の場で、保険料引下げや多子世帯均等割の減免を行うよう強く働きかけ、また、区独自でも引き下げる努力をすべき。

答

国民健康保険については、構造的課題があると認識しており、低所得者に対し、均等割の軽減措置を講じ配慮している。制度に係る課題については、区長会を通して、更なる公費負担を国に要望している。来年度の保険料率は、23区統一保険料方式の枠組みの中で慎重に議論を重ねていく。国民健康保険の様々な課題には、23区一体で対応することが重要であり、現時点で区独自の負担軽減策を講じる考えはない。

問

後期高齢者医療保険料引下げのため、都広域連合が十分な対策を行うよう強く働きかけ、区としても負担軽減策を実施するよう求める。

答

広域連合に対して都内62区市町村とともに、引き続き特別対策を講じること等を考えており、区独自の負担軽減策を行う考えはない。

問

来年度予算編成では、中小企業支援策の再構築を図り、産業観光費の引上げを強く求める。

答

事業効果の最大化を見据えた産業観光関連予算を適切に配分していく。

行政調査の受入状況（令和元年下半期）

墨田区議会では、議会関係者の行政調査の受入れを積極的に進めています。令和元年下半期は、20自治体等が行政調査に訪れています。

来訪日		自治体名／調査項目
7月	24日	沖縄県うるま市 墨田区総合体育館における民間事業等について
	31日	香川県三豊市 議員提案の条例制定について
	2日	東京都中野区・台東区 多文化共生の取組について
8月	15日	東京都台東区 すみだの夢応援助成事業について
	15日	千葉県船橋市 墨田区高齢者福祉センター「立花ゆうゆう館」について
	20日	富山県富山市 防災対策の推進について
	21日	大分県別府市 すみだ障害者就労支援総合センターについて
	22日 23日	大阪府堺市 教育ICTの取組について ゴミ出し支援について
	4日	福岡県福岡市 自転車の無料回収事業について
	1日	愛知県清須市 墨田区総合体育館の建設・運営について
10月	2日	青森県青森市 墨田区中小企業振興基本条例の関連施策について
	8日	広島県広島市 老朽危険家屋の除去費等助成制度について
	25日	福岡県飯塚市 すみだ北斎美術館の管理運営について
	31日	山口県周南市 すみだ北斎美術館の整備・運営について
	14日	神奈川県座間市 自転車のリユース・リサイクルについて
11月	14日	広島県広島市 産業振興施策について
	14日	富山県市議会議長会 議会改革及び議会運営等について
	15日	兵庫県たつの市 議会改革の取組について
	21日	山口県宇部市 墨田区と地域DMOの関わりについて
	21日	石川県かほく市 墨田区総合体育館の管理、運営について
	21日	墨田区総合体育館の管理、運営について

11月緊急議会

台風第19号対応経費にかかる「墨田区一般会計補正予算」を全会一致で可決

墨田区議会は、令和元年度定例会11月緊急議会を11月19日に開会しました。この緊急議会は、台風第19号対応経費にかかる補正予算（総額2億3589万7千円）について審議するため、緊急的に開いたものです。本会議では、区長提出議案「令和元年度墨田区一般会計補正予算」の提案説明を聴取し、所管の企画総務委員会に審査を付託しました。同委員会で議案を審査した後、本会議において、原案どおり全会一致で可決しました。

義援金を送りました

墨田区議会は、台風第19号による被災地を支援するため、議員有志から募った義援金など20万円と、11月2日に区内3か所で行った街頭募金で集めた8万5044円を、それぞれ被災地へ送りました。街頭募金にご協力いただいた皆様に、心から感謝申し上げます。

中学生区議会が開催されました

12月13日に令和元年度中学生区議会が開催されました。

中学生区議会は、未来の墨田区を担う子どもたちに、区政や区議会の仕組みについて学び、体験することを通じて、郷土に対する愛着心、関心を深めてもらうとともに、区政への提案等を行うてもらい、区政の参考とすることを目的に実施しており、今年で26回目となります。

当日は、3人の中学生議員が代表質問を行った後、各区立中学校4人ずつの計40人が3つの委員会に分かれ、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関連した「気運醸成」「おもてなし」「レガシー」について質疑を行いました。



中学生区議会のようす

議員連盟の活動

11月7日

鉄道立体化促進議員連盟

東武伊勢崎線（とうきょうスカイツリー駅付近）連続立体交差事業及び周辺まちづくりの推進について、国土交通省に対し要望活動を行いました。